

## 令和2年度 指定管理業務の評価結果

令和2年度に指定管理者が行った管理業務について、指定管理者選定等委員会で行った評価結果を公表します。

評価の対象は、指定期間が平成31年4月1日から令和6年3月31日である燕・弥彦総合事務組合斎場です。燕・弥彦総合事務組合斎場指定管理者選定委員会では、評価を行うにあたり当該施設の視察と指定管理者及び施設所管課のヒアリングを行いました。

なお、出席した全員の個別の評価項目の合計得点（100点満点）の平均点を基礎とした5段階（A、B、C、D、E）で評価を実施しています。

### 《委員会の評価基準》

総合評価	判定基準	平均点（100点満点）
A	最終的な評価の結果、優れていると認められる。	90点以上
B	最終的な評価の結果、やや優れていると認められる。	90点未満～75点以上
C	最終的な評価の結果、最低基準を満たしたレベルであると認められる。	75点未満～60点以上
D	最終的な評価の結果、やや劣ると認められる。	60点未満～45点以上
E	最終的な評価の結果、劣ると認められる。	45点未満～0点以上

## 評価結果

施設の名称	燕・弥彦総合事務組合斎場	
指定管理者名	有限会社 中央クリーンセンター	
総合評価結果 (平均点)	評価の理由・改善事項・その他	
<b>A</b> <b>(92)</b>	利用者に対するサービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の特殊性からサービスは難しいと思うが、こまかい心づかいがされている。</li> <li>・サービス向上への取り組みが考えられている。</li> <li>・アンケート件数が少ない。現状はよく管理されているが、よりよい管理を目指してもらうためにも、より多くの利用者にアンケート実施する必要があると思う。</li> <li>・特に感染予防で利用者への配慮が行き届いていると思われる。</li> <li>・これからも利用者に配慮した運営をお願いしたい。</li> </ul>
	施設の効率的・効果的な運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果だけを追求するわけにいかない施設と思うが、その中でよくやっていると思う。</li> <li>・施設を十分理解した人材の育成が図られている。</li> <li>・自主事業の中の定例会の実施について、管理の資質向上のため不可欠と考える。コロナ禍で集合が難しい場合も、WEBなどで定期的に開催すべきである。</li> <li>・正確な情報の把握、ダブルチェックなどトラブルを未然に防止する努力が伺われる。</li> <li>・十分な経験を重ねて安心して運営をおまかせできる。</li> </ul>
	管理運営能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年の指定管理の実績が生かされていると思う。</li> <li>・十分な運営能力があると思われる。</li> <li>・施設が長持ちされるように、これからはしっかり管理をお願いしたい。</li> <li>・少人数で効率よく運営されている。</li> </ul>
	施設管理に関するその他要件事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元雇用が守られており安心した。</li> <li>・地元雇用と同様に、委託業者についても地元業者採用、採用時の相見積りなど、地元優先と同時にできる限りの経費削減を目指して行ってほしい。</li> <li>・これからも地元雇用に気を配っていただきたい。</li> </ul>

	管理経費 の縮減	<ul style="list-style-type: none"><li>・ コロナ禍の中、出費がかさむが経費縮減の努力がされていて安心した。</li><li>・ 十分な運営能力があると思う。</li><li>・ 予算と実績を比較した中で、人件費増加は看過できない。コロナ対策の消毒のための手当とはいえ、今後も続くと思 想される状況であるから、確実に検証を行い、より少ない管理料を目指してもらいたい。</li><li>・ 感染予防の経費を上手に他の経費削減で補われていると思 う。</li><li>・ 引き続き管理経費の縮減に努力いただければと思う。</li></ul>
--	-------------	--